

使命は『ねこつきBANDのMマガジン配達』
MISSION IN MOTOSUMIYOSHI!!

「元住吉ミュージック・フェスティバル」に出演したご縁で、音友会の塚田さんと仲良くさせていただき、「Mマガジン8月号」の配達のお手伝いをさせていただきました。今回、その様子を特別記事としてお届けさせていただきます！
ねこつきBAND代表：さあや



Mission I
Load to 元住吉 from 西多摩！

ねこつきBANDは西多摩出身で、東京の端の方からまずはMマガジンを受け取るべく車で元住吉まで向かいます。50km超の道のりですが、ワクワク楽しくお邪魔しました！



Mission III
二手に分かれてお届けMISSION！

駅前でLUNCHして指名開始！
元住吉の商店街の賑やかさに圧倒されつつ、てくてく楽しくお届けさせていただきました。最後は合流して4人組のMISSION！終了。お届けした「Mマガジン7月号の表紙」モデルで紹介していただいたのですが、自分たちが写ったMマガジンが元住吉の商店街に置かれているのを見ることができ、一同感動しました！！元住吉の皆様、ありがとうございます。

Mission COMPLETE！

今回楽しくMマガジンの配達をお手伝いさせていただきました、ねこつきBAND。「第5回元住吉ミュージック・フェスティバル」の運営にも参加させていただくことになりました！ちょこちょこカラフルな4人組で元住吉にお伺いします！街で見かけたら、ぜひ声をかけていただくと嬉しいです。ねこつきBAND一同、皆さんにお会いできる日を楽しみにしております。



Mission II
東口からこんにちわ！

塚田さんからMマガジンをお預かりし、東口からお届けに回りました。いくつか、Mマガジン・サポーター様のお店先で写真を撮らせていただきました。目立つ4人組です！



Mission IV
塚田さんとちょこっとDRIVE！

4人でお届けした翌週、音友会の塚田さんと一緒に、少し離れたMマガジン・サポーター様にもご挨拶に伺いました。「かわさき市民活動センター」では、ちょどイベントが開催されていて、皆さんとても素敵な催しをされていました！！中原区子育てイメージキャラクターのミミちゃんとも写真を撮らせていただきました。ペースのこうじろうさんとドラムのまあなさんが一生懸命に風車を作って大切な方へプレゼントしていました。

プレゼントの風車



A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music
Mマガジン
2025年9月16日号
2025年8月16日発行
(毎月16日発行)
第127号
発行・編集人：塚田親一
制作・編集：藤田順治／大場明弘／江川公美
デザイン・表紙写真：岩崎太一
発行：音楽好きな友の会
川崎市中原区末2-21-32
TEL 090-9398-2889
2025-8-16-800 Printing IT

連載07 ヴァイオリン王子が贈る "Buono!"なヴァイオリンのお話
ヴィオラと玉葱の違いは？

Buono Naoki

ヴァイオリン奏者 坊野 称央己



13歳からヴァイオリンを始め上野学園大学音楽学部を卒業。アーティストサポートやイベントに多数出演する他、武蔵小杉・元住吉エリアにて出張レッスンやオンラインレッスンも展開中。

Violinist・坊野称央己
Official Site
naokibono-violin.com



その答えは「ヴィオラを切り刻んでも涙を流す人はいない」だそうです。これは「ヴィオラジョーク」と呼ばれているもののひとつで、他にもたくさんのヴィオラジョークがあります。オーケストラの世界で存在する、ヴァイオリンやチェロなどの花形の弦楽器を陰で支え懐かし存在しているヴィオラという楽器を揶揄しているのですが、そのようなジョークが生まれた背景は諸説あります。ヴィオラは、ヴァイオリンとさほど音域が変わらないのに音色は華やかではなく音もあまり飛びません。オーケストラではヴァイオリンとチェロに挟まれ内声（ハーモニー）を担当することが多く「何を弾いているかよくわからない楽器」と言われてしまうこともあります。更に、正しい音程をとることも難しいと言われており、「ヴィオラと雷の共通点は、2度と同じ場所に落ちない」というヴィオラジョークもあるほど(笑)また、ヴィオラ奏者の多くが元ヴァイオリン奏者でもあり、落ちぶれた

ヴァイオリン奏者がヴィオラに転向するなどと言われることも。更には歴史的な背景もあり、初期の頃の交響曲などもヴィオラパートがないものもあったり、チェロと同じパートのユニゾンもしくはオクターブで、ヴァイオリンがあまり達者でない奏者が弾いていたとも言われています。ただそんなヴィオラという楽器ですが、私は好きで現場やリサイタルでは弾いています！ヴィオラの良さはなんと言っても音色。ヴァイオリンのように華やかではないですが、渋く深みのある温かい音色はヴィオラならではの。その音色は人間の声に最も近いと言われています。また、浪漫派のメロディーメーカーであるブルッフが作った「ヴィオラと管弦楽のためのロマンス」は、ヴィオラ弾きでが一度は演奏したみたい素晴らしい楽曲。ヴィオラで奏でる美しいメロディーを聴けば、切り刻まなくとも涙が流れるでしょう。

連載02 世界旅と音楽～経験を音にする
シドニーでのバスキング生活

ギタリスト:Yuta Tanaka

こんにちは、ギタリストのYuta Tanakaです。今回はオーストラリアシドニーに住んでいた時の話をしたいと思います。前回ロンドンの話をしましたが、ロンドンから帰国後はより音楽でやっていきたいと強く思うようになり、2010年にオーストラリアシドニーに単身渡りました。

シドニーのバスキング(路上演奏)はライセンス制でついたその日にすぐ取り



▲シドニー、ビットストリートでのバスキングの風景

ました。はじめは安いバックパッカーに泊っていましたが1番安いのは8人部屋でこれは正直しんどかったです笑。その後別のバックパッカーを転々としながらバスキングもはじめ、日本人のシェアハウスが見つかりそこに住む事にしました。自分は英語をまともに勉強してきませんでしたが、オーストラリアに住んでたこの頃会話の中から英語を身につけていった気がします。訛りもあるのではじめは全然聞き取れませんでしたし、口も悪い人が多かった笑。でもそこでしか学べないスラングなども少しは理解できるようにはなりました。生活も慣れてきた2011年3月11日、演奏終わりにいろんな人から日本が大変な事になってると聞き、うちに帰るテレビをつけた時の映像は今も覚えています。

与えられて生かされてる。命を十分に全うしないといけないと感じました。日々演奏する中で様々な出会いがありますが一期一会というのはこの事です。日々誰かの救いになり、そして自分が救われる。こんな有難い仕事はありません。毎日音楽し、曲をつくる生活をしていました。その時に生まれた曲は今でも弾いています。メルボルンにシェアハウスの友達たちと旅行に行った時にホテルで10分くらいでつくった曲「Just for a while」という曲があります。これはもうひどい失恋の中うまれた曲でした(ストリーミングサービスで検索してみてください)しかし全てが音楽の肥やしになる訳で表現できる術がある自分は幸せだと思います。旅は続く

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories
M MAGAZINE



音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/

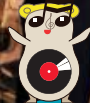
後援

- 川崎市中原区
- 「音楽のまち・かわさき」推進協議会
- 公益財団法人 川崎市国際交流協会

2025
9
September

米澤 貢(よねざわみつぐ):サクソ奏者

1958年福岡生まれ。サクソ歴50年。熊本商科大学(現・熊本学園大学)卒業。16歳の時、高校で吹奏楽の世界に飛び込みサクソと出会う。大学入学と共にビッグバンドJAZZの道へ。卒業後、サラリーマンをしながら演奏活動を続け、15年前よりサクソ講師になりストリート演奏も開始。現在、東京銀座、藤沢にて毎週末、路上パフォーマンスを展開中。クラシック以外の曲を演奏し世界中の来日観光客を魅了している。YouTubeチャンネル「歌うストリートサクソ」には、既に100曲を超える演奏をアップしている。



2025年
9月
はお休みです。

音友レコード倶楽部

レコードコンサートのプログラムは
・Light music/軽音楽の集い
& Jazz Date/ジャズの集い
・持ち寄りタイム/持参レコード/CDを
楽しむ集いで開催中

川崎市国際交流センター

川崎市観光ボランティア通訳セミナー
街歩きで訪日外国人 おもてなし講座

街歩きツアーの企画やおもてなし英語を学ぶことができます。プレーメン通り商店街を舞台にしたオリジナルのツアー企画をたてて、実際に英語で観光案内をしてみます。

●日時:9月6日(土)10時～15時、
9月27日(土)10時～15時
(二回連続講座)

●会場:川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

●対象:川崎市在住、在勤、在学の16歳以上

英検2級以上の方

●定員:30名(先着順)

●参加費:3,800円

●申込:国際交流協会ホームページ 申込フォームから

●申込受付:8月12日(火)から受付中



申込フォームは
こちら

●お問い合わせ
公益財団法人川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000 E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
ホームページ https://www.kian.or.jp/

川崎市生涯学習プラザ

第152回ランチタイム・ロビーコンサート

出演:Ensemble le fleuve(アンサンブル ル フルーヴ)
ヴァイオリン:五味俊哉 吉本彩子
ヴィオラ:鈴木真理恵
チェロ:池田信

[プロフィール]

1952年創立、昨年70周年を迎えた神奈川県で2番目の老舗オーケストラ、川崎市民交響楽団と一緒に活動しているメンバーです。会社勤務の傍ら、趣味として音楽活動を楽しんでいます。



●予定曲目
・モーツァルト 弦楽四重奏曲第17番 変ロ長調「狩」K. 458

●日時:9月11日(木曜日)
12:00開場/12:10開演/12:40終演予定

●料金:無料

●場所:川崎市生涯学習プラザ・1フロビー

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団 総務室 総務係 ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41
ホームページ https://kpal.or.jp/

音楽好きな友の会(音友会)

伝説的ロックバンド「はっぴいえんど」

Fujita Junji

音友レコード倶楽部:藤田 順治

日本におけるロックの草分け的な存在だった細野晴臣、大瀧詠一、松本隆、鈴木茂による「はっぴいえんど」の解散記念コンサートが、1973年9月21日に東京・文京公会堂で行われた。わずか3年間の活動での解散であった(実際は1972年12月31日に既に解散していた)。「はっぴいえんど」のサウンドを改めて聴いてみるとフォークに近いロックという感じであった。これは根底にメンバーが好んで聴いていた、アメリカのロックバンド「バッファロー・スプリングフィールド」の影響やアンガラ・レコード・クラブ(URC)時代にフォーク歌手のバック演奏を行っていた事が起因していると思われる。解散記念コンサートのステージ構成は3部で開催された。第1部は「はっぴいえんど」のメンバーがプロデュ

サーを務めていた南佳孝、吉田美奈子、西岡恭蔵、ココナツ・パンクらの楽曲演奏。第2部では、はっぴいえんどのメンバーがそれぞれ取り組み始めていた新しいサウンド(音)を披露。大瀧詠一によるココナツ・パンク(シュガー・ベイブがコーラスで参加)、松本隆によるムーンライダーズ、キャメル・ママ(細野晴臣、鈴木茂、林立夫、松任谷正隆)の楽曲演奏という順だった。第3部はメインの「はっぴいえんど」の解散ライブで締めくくられた。



▲ライブ!! はっぴいえんど /はっぴいえんど

♪ 2025年9月末定のお知らせ!! ♪

第201回音友レコード倶楽部は暑さのためお休みです。※詳しくは「音友会」のホームページでお知らせします。



音友レコード倶楽部PR動画!

「音友レコード倶楽部」を
わかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

常連の参加者との共同製作です。
撮影・編集はギター奏者の永瀬晋が担当。
新規参加の前に、ぜひご覧ください。
YouTube配信中。

https://ontomo.jp



連載13 オカリナに誘われて 音楽は健康的

私は色々な仕事をしてきました。一般事務、経理事務、CADオペ、倉庫作業等々。今オカリナ講師をしています、やっと自分らしく生きられる仕事につけたと思っています。社会人になって、思っていたのは、私はリーダー的なことは向いていないので、スーパーサポーターになりたいと思っていました。今の仕事はリーダーでもあるけど、みんなの笑顔を作るスーパーサポーターでもあります。音楽の世界で生活していくのは難しいと言われたし、そう思っていました。でも音楽は子供の頃からずっと私のそばにあって、私の生活の潤いでした。でも仕事には出来なかった。オカリナに出会って、オカリナを一生懸命練習している人達を沢山見て、私はやってみようと思いました。オカリナを教えていると、生徒たちは人生の先輩ばかりなので、健康という事がいかに大切な事かということをもっと教えられます。音楽なんて、なん

の役にも立たない趣味だからと思っていたのは大間違いで、普段よりも深く呼吸をしたり、指先を動かしたり、楽譜という新しい言語を読んだり、演奏というのはとても刺激が多くて健康的です。そして何より、一緒に参加している人達と、みんなでおしゃべりして、笑ってこれが大事。なるべくみんなの笑顔が見られるように、レッスンをしています。出来なかったことができるようになったり、綺麗な音に癒されたり、時には間違えてひやひやしたり、心も忙しいので、認知症予防にもいいのでは?と思っています。私はホントに良い仕事に巡り合えました。楽しみながら健康にもなれる そんなお手伝いができる事、そして、沢山の人の出会えて、お話しできてこれは以前の仕事ではなかったであろう事態です。沢山のパワーを与えたり頂いたり、私も健康を大切にこの仕事を長く続けて行きたいと思います。



小棚木 恵美子



「思い通りに演奏できる!オカリナ上達のポイント50」監修出版。神奈川・東京を中心に演奏活動しています。
●第二・四(水)、(金)には、武蔵中原駅近くのコーヒースポットライフにて、オカリナ体験できるレッスンや オカリナのお悩み相談を受けるレッスンやイベントを開催中♪
【予約受付 090-2436-5985 花】
●2025年10月19日(日)10時半〜15時予定小棚木クラスオカリナ発表会を「テクノかわさきでくのホール」にて入場無料で開催します。是非お立ち寄りください。

Instagramも是非のぞいてください
https://www.instagram.com/emikokotanagi/

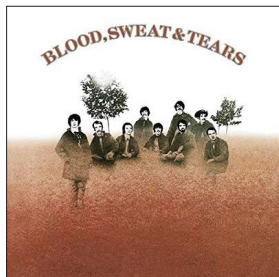
Instagram
@emikokotanagi



特別寄稿 Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談議

映画『B.S.Tに何が起こったのか』を観て その1

2019年5月号Mマガジンの記事で高校生時代によく聴いた、まさに血と汗と涙のバンドである「ブラッド・スウェット・アンド・ティアーズ」を取り上げた事がある。アメリカのブラス・ロック・グループ「シカゴ」や「チェイス」などと並ぶ大御所である。私がこのグループで特に好きな曲は彼らのセカンドアルバムに収録された「Smiling Phases」である。原曲はスティーヴ・ウィンウッド率いる英国ロックグループ「トラフィック」の曲であるが当時のアレンジ陣により、全然異なる楽曲へと変わっている。途中まではソウルフルなロックであるが途中で一転してジャジーなリズムに



▲Blood Sweat & Tears
/Blood Sweat & Tears

切り替わるという曲調になっている。この曲の中で従来、トロンボーンを吹いていたデヴィッド・ハリガンがオルガンを、アルト・サクスを吹いていたフレッド・リプシウスがピアノを弾くなど持ち替えて演奏している。またリード・ボーカルを担当しているデヴィッド・クレイトン・トーマスがパーカッションのドラムにトライアングルなどを曲の合間で演奏している。

昨年、『ブラッド・スウェット・アンド・ティアーズに何が起こったのか』というドキュメンタリー映画が公開され、どうい内容に興味があったので見に行ってきた。今回はこの映画の中でいろいろな新事実が見つかったので述べていこうと思う。

1969年にセカンドアルバム「Blood, Sweat & Tears」でグラミー賞の最優秀アルバム賞(次点はビートルズの「Abbey Road」)、最優秀演奏賞、最優秀編曲賞の3部門を受賞し、ブラス・ロックを代表する中心的バンドとなった。しかも、ジャズ界の重鎮ルイ・アームストロングからトロフィーを授与された事は彼らにとって大変、名誉な事だったと思う。3冠に輝いたグラミー賞だ

が、授賞式のテレビ放送が始まったのはこの頃からだそう。すべてが順風満帆だと思われたその時、カナダ時代のデヴィッドの前科に難癖がつけられ、彼は居住権剥奪の危機に晒された。ベトナム戦争へのデモが激化し、反戦運動が活発化したアメリカにおいて当時のニクソン政権(大統領補佐官はキッシンジャー)はデヴィッドのグリーンカードを取り消すと脅した。窮地を救ったのは四人上りのマネージャー、ラリー・ゴールドブラット。米国务省との裏取引に応じ、米ソの冷戦下でソ連の影響下にあるユーゴスラビア、ルーマニア、ポーランドでのライブ出演(鉄のカーテン・ツアー)を交換条件に米国居住権を保障することとなった。メンバーの中ではスティーブ・カットツ(Gt)が反戦運動を支持しており、政府の交換条件を拒否したかったが主力メンバーであるデヴィッドがこの状況に立たされ、結果的には従わざるを得なかった様である。そして彼らは東欧諸国に旅立ち、当時ロックというものを聴いた事がない人々の前で演奏する事となる。(次回に続く)

特別寄稿 Conversations 音楽談議

チェロとの出会いが私の人生を豊かなものに

チェロとの出会いは15歳の春、高校のクラブ活動でした。それまで音楽は苦手で楽譜もあまり読めなかったにも関わらず完全にハマってしまい、高校にはチェロを弾きに行っているような毎日という感じでした。正直、チェロに出会うまでは引込み思案で、自分から前に出て意見を言ったり人前で喋ったり、なんてことは皆無の人生でした。しかしチェロを始めてから上達とともに周りから一目置かれるようになり、自分に自信を持てるようになったでしょうね。様々な事にすぐ積極的になりました。しかし大学は音大ではなく国立大学の農学部に進学、そのまま大学院に行くつもりが「いざ進学」という最終局面で「自分が何をしたいか?」に疑問を持ち始め、大学院は辞退。本格的にプロのチェリストになるための修行を開始。勉強嫌いだった私が「チェロなら一生勉強したいと思う」と確信した故です。

私を導いてくださった師匠との出会い

いを経て最初の大きな転機となったのがアジア・ユース・オーケストラのオーディション合格です。それは「日本という閉じた環境でなく海外で、大陸で活動したい」という気持ちをより強くし、2000年にタイの大学の音楽学部の附属学校に講師の職を得て渡タイ。のちに王立バンコク交響楽団に入団して多くのタイ人や多国籍の音楽家との交流で自身の音楽観、指導観が大きく変わりました。また演奏そのものやリハーサルを楽しむ人々から出る音はただただ素敵で暖かく、現在の私のリハーサルへのアプローチに大きな影響を与えています。また年齢や性別、国籍や宗教観関係なく「壁をつくらず、先入観を持たず、フラットに思うままに人と接する」という事をタイや色んな国の人々に学びました。これらは2019年に帰国後の今でも私にとって大きな財産です。そして様々な人と音楽を共有する喜び。それが私の人生を「これでもか!」ってくら

い幸せにしてくれています。それもこれも全てチェロに出会ったから。チェロは私にとって人生そのものです。



▲大阪のギャラリーでアーティストとのLIVEイベントにて

Mマガジン表紙写真撮影雑記帳

今号表紙モデルをお願いしたのはサクセス奏者の米澤氏。いつも19時頃からストリートライブが始まるというので、撮影させていただいた。19時ならギリギリ薄暮で撮れるかと期待もあったが、参議院選挙の街宣活動のため、いつもより遅く開

始となる。20時は真っ暗。出たとこ勝負でかまえてみたが、東京銀座のネオンはとても良い雰囲気。観光客も多く、立ち止まって聴き入る人が増えていったが、常連らしいお客さんも見られ、あっという間に人垣ができて米澤氏が見えなくなった。

撮影担当:イワサキ タイチ

連載30 脱線ニューヨーク滞在記 思い出し寄り道編の寄り道 ニューオリンズへ

前号の寄り道ブラジル編から寄り道の寄り道で今号は1週間ほど前に行ったルイジアナ州ニューオリンズへの旅を。シアトルに二日滞在し娘ジェンと、そこから4時間半時差2時間、ルイ・アームストロング・ニューオリンズ国際空港へ。タクシーはピックアップトラック、ドライバーは大きくてしゃがれた響く声のアフリカ系アメリカ人男性でまるで来たようにルイ・アームストロング(ニューオリンズ生誕)に会った様でした。ドライブ中ずっとニューオリンズについてや、2005年の巨大ハリケーン・カトリナの際は多くの人と同じ様に家を失った事など色々話してくれ、途中高速道路からまだ復興されていない廃墟化した集合住宅街を指し幽霊話をして、ニューオリンズは幽霊の観光ツアーもあると。なかなかの声なので歌っているのと聞くと「ノー ノー」と大笑い。ホテル・ド・ラ・モネに着きました、このホテル中庭の廻り全て5階まで回廊になっていて下からの植物が空に向かい太陽の日を浴び輝いてました。荷を解き早速外に出掛けると、まだ人はまばらでしたがなぜかすぐに心高鳴りワクワクしてきました。数件のライブハウスは既に開いていてうす暗い中にサウンドチェックしてる人、カウンターで飲んでいる人、オカルト系の店、ブードゥー教の店、道端の4、5人でたむろしているジャンキーたちも溶け込み行き交う人もなにが面白そう、変人、狂人のパラダイスだ。と、興奮しているやと突然大雨になりクールダウン、バーに入り雨宿り、そのバーテンダー速い日本



▲ホテル中庭の樹木が五階の回廊まで伸びている。

陽の日を浴び輝いてました。荷を解き早速外に出掛けると、まだ人はまばらでしたがなぜかすぐに心高鳴りワクワクしてきました。数件のライブハウスは既に開いていてうす暗い中にサウンドチェックしてる人、カウンターで飲んでいる人、オカルト系の店、ブードゥー教の店、道端の4、5人でたむろしているジャンキーたちも溶け込み行き交う人もなにが面白そう、変人、狂人のパラダイスだ。と、興奮しているやと突然大雨になりクールダウン、バーに入り雨宿り、そのバーテンダー速い日本



▲ナポレオン・ボナパルト

Demura Katsuaki
出村 克明

バーカッション奏者
コンセプトアルバムアーティスト
現代アートでは空気、無を梱包して送る
エアメールアートを展開している。

議面白感。何だろう、これも歴史が醸し出したミュータントなのか、それともここに来てナマズやワニを食ったからかな、と。食べました。

次号へ

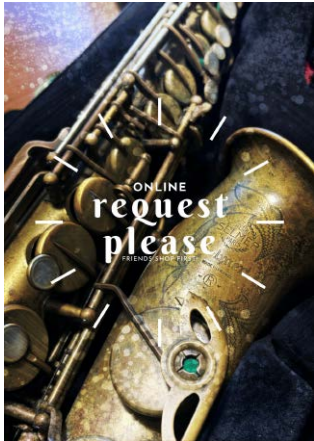


▲ルイ・アームストロング
(ニューオリンズ生まれ)
1901年〜1971年



▲マヘリア・ジャクソン
(ニューオリンズ生まれ)
1911年〜1972年

連載04 サックスと私 サクソってどんな楽器?



▲私の使用するヴィンテージのサクソ

サクソスを吹いてみたい、カッコいいからやってみたくて潜在的に思っている人は沢山いる様です。数年前に新橋で男性サラリーマンへの習ってみたい事アンケートで5位に入っていました。サクソスは、子供からお年寄り迄演奏可能な楽器なんです。子供は指が届けば小学校低学年から出来ます。そして、高齢の方は深呼吸が出来て指が動けば何歳迄でも可能です。日本のトッププレイヤー渡辺貞夫さんは93歳でコンサートツアーをされています。

① 楽譜読めないけど
はい、大丈夫です。口笛って誰にも習った事ないのになんとなく吹けます

お問い合わせ先
携帯電話:09065133010 E-メール:yone552000@yahoo.co.jp

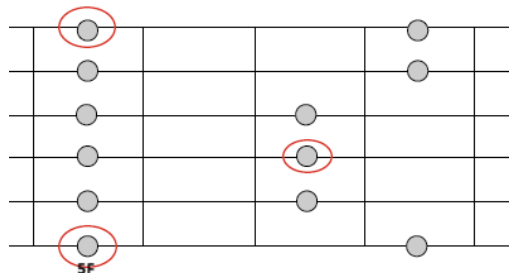
Yonezawa Mitsugu
サクソス奏者:米澤 貢

よね。あの感じなんです。頭の中にあるメロディーを音にしていけるので、カラオケを歌うように吹けるんです。これが、他の楽器に無い特徴なんです。
② 楽器は幾らくらい。
中古で充分です。上手く行けば15万円からあります。ただし、ネットですって2、3万円のはダメです。あれは鳴らないんです!
さあこれを読んだあなたは、早速動きましょう!勿論僕もお世話出来ますので、お問い合わせ下さい。
面倒な基本練習はしません!音が出れば演奏したい曲の練習が始まりますよ。楽しい音楽人生の扉が開きます!

連載88 Course: Addicted to Guitar A マイナーペンタトニック(ブルーノート) Rootの位置を覚えよう

いつもお世話になっております。引き続きギターを始めたばかりの方への攻略コラムを紹介していきたいと思います。今回は前回ご紹介しました「A マイナーペンタトニック(ブルーノート)スケール」を掘り下げていこうと思います。スケールという音が多くて最初はどのように使っているのかわからないという方が多いと思いますが、スケールの音(響き)は全てに役割がありまして、今回は一番重要&覚えやすいRootの位置を覚えていきましょう。(図参照 6弦5F、4弦7F、1弦5FがRoot位置)そもそもRootとは何ぞやという話ですが、その音階の土台、ボス的な役割となっておりまして、AmペンタトニックスケールであればAの音、BMajスケールであればBの音、CMajスケールであればC

の音と、音階やコードの起点(根)になる音ですね。そして音(響き)の役割もボス的存在ということもあり一番安定感のある音(響き)になります。実際に分かりやすい確認方法として、Cのコードを鳴らしながらドレミファソラシド(CMajスケール)を鳴らすとCの音が一番安定することが分かります。



ソウリーヴ・ミュージック・スクール
SouleaveMusic School
http://souleave-music.com/
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
レッスンは8:00〜22:00開始迄、詳細は要連絡



MOTTON CLUB
♪♪掲載登録アーティスト募集中!!♪♪

全国のミュージシャン、および音楽活動に関わる人をネットワークし、そして演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動の後押し、が目的です。元住吉から世界に向けて配信しています。
演奏者の方々で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画も募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフも募集中)

